

初診診療録(脱毛症) 2016-7

年 月 日

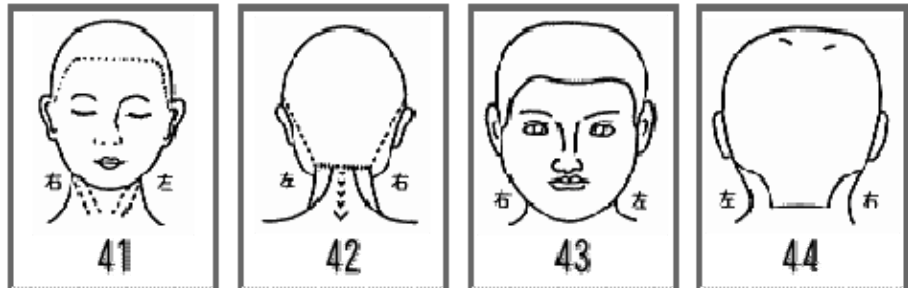
No. -

フリガナ		性別	年齢	生年月日	職業
お名前		男・女	才	昭和・平成 年 月 日	
現住所	〒 -		携帯	携帯番号は必ずご記入ください - -	
			自宅電話	- -	
E-mail	@		勤務先		

① いつごろから脱毛症（脱毛傾向）を意識していましたか？

② 脱毛症で気になる部位は何処ですか？

【頭の図】



③ 遺伝的な事について質問します。親族の方で脱毛症（脱毛傾向）の方はいらっしゃいますか？
(父、母、父方(祖父、祖母)、母方(祖父、祖母)、兄、姉、弟、妹、その他)

④ 長期間服用していたお薬はありますか？ (ない ある)

※ある方は、薬剤名がわかれば記入してください。お薬手帳がある方は記入不要です。

()

⑤ 何か発毛剤等を使用されていますか？ (ない ある)

※ある方は、薬剤名がわかれば記入してください。お薬手帳がある方は記入不要です。

()

⑥ 今までに下記の病気をされた事がありますか？ ○をつけてください。

- ・ 高血圧症 ・ 心臓疾患 ・ 高脂血症 ・ 糖尿病 ・ 胃、腸の病気 ・ 肝臓病 ・ 気管の病気
- ・ 肺の病気 ・ 甲状腺疾患 ・ 脳の病気 ・ アトピー性皮膚炎 光線過敏症(紫外線、太陽光線)
- ・ 血液疾患(貧血、白血病 紫斑病 その他) ・ ジンマシン ・ HIV
- ・ アレルギー性疾患(気管支喘息 アレルギー性鼻炎 アレルギー性結膜炎 食物アレルギー
- ・ その他 () ・ ない

⑦ 現在服用している薬はありますか？ (ない ある)

※ある方は、薬剤名がわかれば記入してください。お薬手帳がある方は記入不要です。

()

⑧ 薬あるいは、食物アレルギーはありますか？ (ない ある) ※名前がわかればご記入ください。

()

⑨ 女性の方、現在妊娠していますか？ (していない している)

⑩ 脱毛症について

- 男性型脱毛症：最も多い一般的な脱毛症です。
 - ① 男性ホルモンが関与していることを知っていますか？（知っている 知らない）
 - ② 遺伝が関与していることを知っていますか？（知っている 知らない）
- 円形脱毛症：原因不明なもので、毛包に対するTリンパ球を介した一種の自己免疫疾患と考えられています。この事を知っていますか？（知っている 知らない）
- 休止期脱毛症
- 成長期脱毛症
- 薬剤性脱毛症：様々な薬剤の副作用によって脱毛が起こることがあります。
- 甲状腺疾患：甲状腺機能低下症になると脱毛が起こることがしばしばあります。
- 老人性脱毛症
- 女性における脱毛症

⑪ 貴方の希望する検査、治療は何ですか？ ○を付けてください。

1. 血液検査（脱毛症の原因検査）

※当院ではフィナステリド、デュタステリド、スピロラクトン等を服用される方は、服用前に血液検査をして頂きます。服用後も3～8ヶ月毎に副作用のチェックの為に血液検査をすることがあります。

- 2. 治療：発毛剤①内服薬、②注射薬、③外用薬治療
- 3. 育毛、ヘアエステ
- 4. 超高感度LED・HEALITE療法
- 5. 増毛、ヘアピース

⑫ 当クリニックは何でお知りになりましたか？

ご紹介、インターネット、ビルの案内、雑誌など、その他（ ）

⑬ その他、ご希望・ご質問がありましたらご記入ください。

男性型脱毛症の主な発毛剤は以下のようになります。

I 5 α リダクターゼインヒビター

内服薬	外用薬
フィナステライド（プロペシア） デュタステリド（アボルブ・ザガーロ） スピロラクトン ノコギリヤシ（フィナステロール） 亜鉛 ビタミンB6 ビール酵母 プラセンタ（注射薬もあり）	アゼレイクアシド

II 毛母細胞、毛乳頭細胞の成長促進及び血行促進

内服薬	外用薬・注射薬
ミノキシジル（成長促進・成長維持促進） 甲状腺ホルモン（成長促進） プラセンタ	フロジン（毛根の血流促進） 薬用クロウ（発毛促進・休止期の発毛促進） 成長ホルモン（成長促進）

毛穴のクリーニング

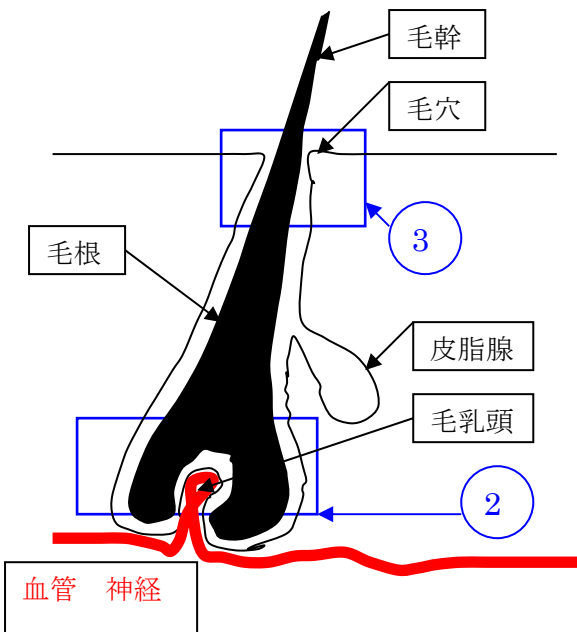
毛穴に充満した皮脂には、5 α リダクターゼが多く含まれており、その皮脂が毛根内に移動し、皮脂内の5 α リダクターゼの作用でテストステロンがDHTに生合成されます。その結果、脱毛が促進されるために、皮脂の除去即ち毛穴のクリーニングは重要です。正しい洗髪方法、シャンプー・リンスの選択、頭皮・毛穴のマッサージを含めたリハビリ治療が重要です。

皮脂の除去・毛穴のクリーニング → 5 α リダクターゼの除去 → 角化正常化

←レチノール酸からの働きを助け→皮脂分泌の正常化、頭皮の血流の改善、頭皮のクリーニング

男性型脱毛症の発生原因は、現在では臨床医学的・化学的に解明されましたが、その発生原因は以下のようになります。

【脱毛と発毛の要点】



脱毛
 血液中のテストステロン (T) は、毛乳頭内で 5 α リダクターゼ (5-RED) の作用を受けて Dihydrotestosterone (DHT) に生合成される。毛根内の DHT リセプターに付着した DHT は、人体の免疫機能の中で異物として認識されるために、その結果として毛根は破壊され、毛成長期は短縮し、毛髪の太さも進行性に細くなり、徐々に脱毛が進行するのである。

